

# 公共空間における環境彫刻

—石の記憶3—

有田信夫 瓜生隆弘

## Environmental Sculptures in Public Spaces

Memory 3 of stones

Nobuo Arita Takahiro Uryu

### 要旨

この20年、全国の公共空間に、数多くの彫刻作品が設置されるようになった。美観を高めたり公共空間を訪れる人々にメッセージや安らぎを与えるためである。

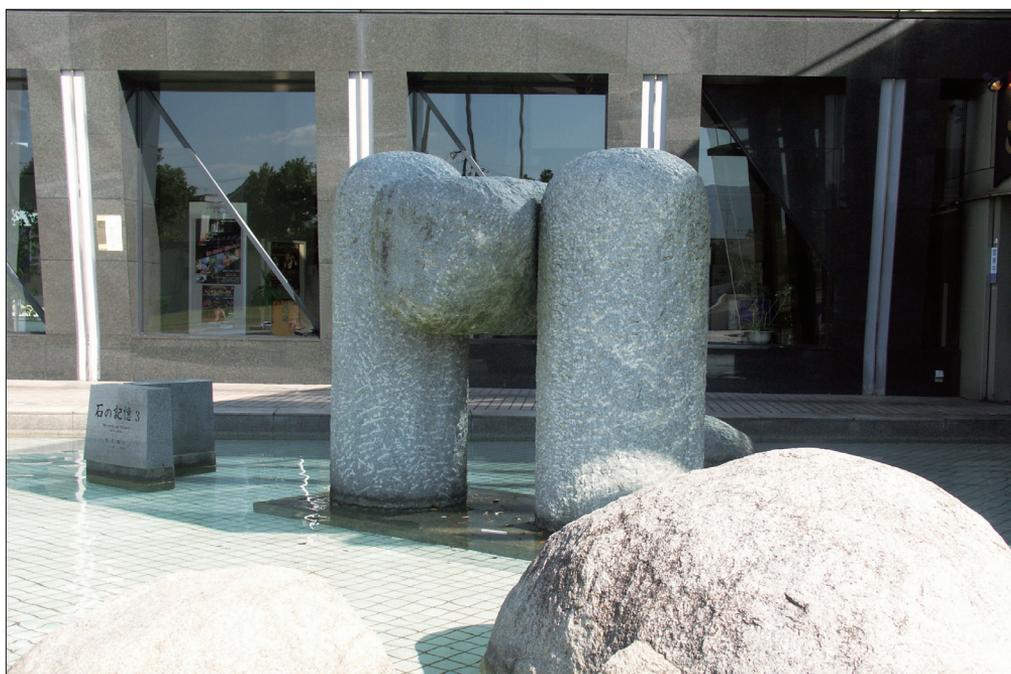
しかし、これまで、公共空間に彫刻を設置する場合は、彫刻家や行政、設置に関わる人の見識にまかされるケースが多く、この場合、彫刻家や行政、設置に関わる人は公共空間との調和を全く考えない訳ではなかったが、どちらかと言えば、感覚的世界に頼りがちである。このため、彫刻設置のねらいとは逆に、設置された彫刻が不適切なため、公共空間のイメージを損ない、本来のメッセージを伝えたり安らぎを与えていない場合がある。また、ある公共空間に、不適切なイメージの作品が設置された場合、美観を視覚的にそこない、そのうえ、彫刻作品に接する人に心理的に不快な感じを与える。公共空間と彫刻との調和を含めた景観の在り方が問われているのであり、そのためには、科学的なデータに基づく検討が必要と言える。そこで、本研究では、公共空間に適切な彫刻を置く為に、まず、自らが制作した公共空間の環境彫刻を取り上げ、制作コンセプトと制作プロセス、公共空間の彫刻と背景になる建物の関係、環境彫刻と市民の嗜好イメージの関係をとり上げ、公共空間における彫刻の制作コンセプトやイメージの関係を分析した。

キーワード 環境彫刻 公共空間 感性イメージ

# 公共空間における環境彫刻

## Environmental Sculptures in Public Spaces

有田信夫／ARITA NOBUO  
近畿大学九州短期大学／kyshu Junior College of Kinki University



作品タイトル「石の記憶3」

作品概要（素材：白御影、制作手法：カービング、サイズ H250×W340×P300、制作年：1996年）

## I . 研究の目的

本研究では次の項目について調査・分析することを目的とする。

- (1) 研究・制作の背景
- (2) 彫刻制作コンセプト
- (3) 彫刻制作プロセス
- (4) 公共空間の彫刻と背景になる建物の関係
- (5) 環境彫刻と市民の嗜好イメージとの関係

### (1) 研究・制作の背景

1992年に飯塚市は市制60周年記念を迎え、市民会館が建設された。市民会館の設計コンセプトは、文化学園都市づくりにふさわしく、潤いのある空間にするため、飯塚市の歴史・文化および新しい時代に向かっでの飛躍するシティーモダンな設計に主眼が置かれた。館建設に伴いアート計画も同時に進められた。飯塚市は、市民会館に調和し、飯塚市のシンボルとしてモニュメントを公園広場に1基、市民会館の玄関に彫刻1基の合計2基を設置することになり、全国公募を行った。審査の結果、2基の彫刻が選ばれた。その後、婦人団体から彫刻寄贈の話が持ち上がり、アート計画の原案を作成した有田暢夫氏に設計・制作が委ねられた

### (2) 制作のコンセプト

2基の主要なモニュメントと彫刻は、飯塚市のシンボルとなるモニュメントと市民会館の玄関に設置される彫刻であるから、飯塚の顔となる。一方、もう一点の彫刻に求められるものは、市民に親しまれる彫刻である。まず、設計にあたっては、下記のこと主眼に置き、計画はすめられた。

- ①彫刻と背景の建物のイメージの構造関係を明確にする。
- ②時間が経ってもイメージが変わらない素材にする。
- ③全体の広がり considering して、群としてイメージする。
- ④彫刻の構造に組構造を取り入れる。
- ⑤時間という観念が感じられる彫刻であること。
- ⑥あらゆる年代に好まれ、親しまれる彫刻であること。

### (3) 制作のプロセス

- ①コンセプトを基にアイデアスケッチ(100枚程度)を繰り返し、デッサンを描いた。
- ②それを基に石膏のムク材にノミとハンマーでマケット制作(カービング)。
- ③模型の寸法から本制作用の図面作成。
- ④素材の決定と石材店への発注(石材の色、石の組織の密度、石の値段、発注費用の検討結果、

石材は日本産に決定)。

⑤機械で円柱のぎりぎりまでを削ぎ落とす手法を取った。

⑥本制作期間：三ヶ月間。

#### (4) 制作後のイメージ調査

##### 1. 調査の目的

制作を行った飯塚市民会館の環境彫刻（石の記憶3）については、公共空間により適切な彫刻を置くことが出来るようにするため、（1）環境彫刻（石の記憶3）と背景とのイメージの関係について（2）環境彫刻（石の記憶3）と市民の嗜好イメージの関係について（3）環境彫刻（石の記憶3）と風土イメージの関係について基礎的データ作りの調査研究を行った。

##### 2. 調査の方法

NCD法による分析・結果・考察の調査研究を行った。

NCD法とは対象に対して被験者が抱く総合的印象を形容詞言語に置き換え、さらに形容詞言語が色彩と等価交換できることを特徴としている。また、NCD法は造形嗜好感性調査の多変量解析で、ものづくりに関する色彩、形態、材質、などの嗜好感性を尺度化、しかもそれらの相関性や構成法を事前検証している。

##### 3. 調査

###### (1) 調査の期日

平成7年7月、平成8年7月、

平成9年7月 平成10年7月、平成18年7月

###### (2) 調査の対象

飯塚市環境彫刻「石の記憶3」

飯塚市市民会館「コスモスコモン」

市民の嗜好イメージ

###### (3) アンケートの対象者

近畿大学九州工学部の学生 90人

近畿大学九州短期大学学生 105人

近畿大学附属女子高等学校 160人

市民 200人

###### (4) アンケートの方法

NCD法により、環境彫刻「石の記憶3」、飯塚市市民会館「コスモスコモン」に対して、被験者がいadak総合的印象と被験者の嗜好イメージを形容詞180語の中から15～20語を選択する方法を用いた。

(5) アンケート調査用紙

彫刻（飯塚市）のイメージ調査・アンケート

右記の180語の中から、建物のイメージを15-20語選んで、その数字の○をつけてください。

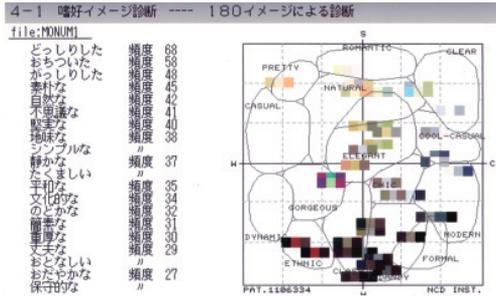
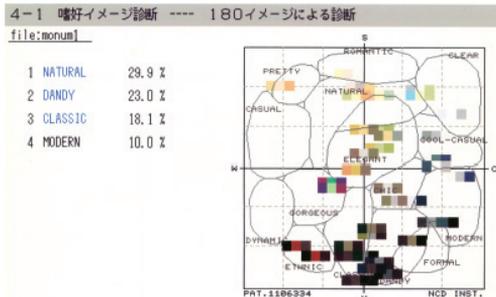


1 情緒的な	61 癖的な	121 ダイナミックな
2 甘い	62 シューブな	122 洗練された
3 かわい	63 凝縮的な	123 凝縮的な
4 やわらかな	64 精緻な	124 かわいた
5 厚みがある	65 平和な	125 エロジカルな
6 まろやかな	66 ざらついた	126 高貴な
7 肉感的な	67 保守的な	127 あでやかな
8 知的な	68 雄辯的な	128 行動的な
9 新鮮な	69 高尚な	129 フェミニンな
10 ずばずば	70 エキゾチックな	130 堅実な
11 若々しい	71 家庭的な	131 裝飾的な
12 上品な	72 剛健的な	132 手ぬらい
13 静かな	73 ういいういしい	133 丹念な
14 確信的な	74 昔風な	134 古イロト
15 おごもかな	75 メルヘンの	135 ショーとした
16 りりしい	76 純粋な	136 グロウセスな
17 健全な	77 洗練な	137 おどやかな
18 爽	78 のびのびした	138 シンプルな
19 豪華な	79 なまやかな	139 軽やかな
20 おちついた	80 おとなしい	140 めれた
21 伝統的な	81 微妙な	141 鮮烈な
22 野性的な	82 素朴な	142 ぜいたくな
23 古風な	83 きらびやかな	143 風和な
24 豪華な	84 アクティブな	144 グラブな
25 洗練した	85 おおらかな	145 美しい
26 華やかな	86 マイルドな	146 豪華な
27 静	87 みずみずしい	147 真新しい
28 豪華な	88 奇麗な	148 たくましい
29 まろやかな	89 安全な	149 和風の
30 おだやかな	90 スーパーな	150 ちが
31 やさしい	91 スーパーな	151 不器用な
32 親しみやすい	92 暖かい	152 奇麗な
33 美しい	93 爽爽した	153 なめらかな
34 きれいな	94 華やかな	154 洗練された
35 活動的な	95 田舎的な	155 雄大な
36 静かな	96 精神のある	156 真面目な
37 知的な	97 ちが	157 洗練された
38 進歩的な	98 奇麗な	158 正式な
39 クリアな	99 奇麗な	159 うるやかな
40 可憐な	100 激しい	160 清潔な
41 しなやかな	101 力動的な	161 なが
42 凝縮な	102 味わい深い	162 うれしい
43 やさやかな	103 雄大な	163 雄大な
44 シックな	104 古典的な	164 コーテージな
45 ミニマルな	105 荘厳な	165 雄大な
46 ロマンチックな	106 マカニクな	166 気高い
47 凝縮な	107 ざらついた	167 ナチュラルな
48 洗練した	108 雄健的な	168 洗練された
49 洗手な	109 おめでたい	169 ほがらかな
50 凝縮な	110 カジュアルな	170 しとやかな
51 劇的な	111 にかやかな	171 文化的な
52 デザインな	112 フォーマルな	172 洗練した
53 格れた	113 グランディアな	173 豪華な
54 しめられた	114 ドラマチックな	174 ドラマチックな
55 麗かな	115 肌ざわりのよい	175 なつかしい
56 麗かな	116 コマやかな	176 洗練された
57 洗練した	117 スーパな	177 かわい
58 ひなびた	118 漂白な	178 まぶしい
59 文豪な	119 プラシッドな	179 洗練した
60 実用的な	120 クラシックな	180 のどかな

4. 公共空間の彫刻と背景になる建物の関係

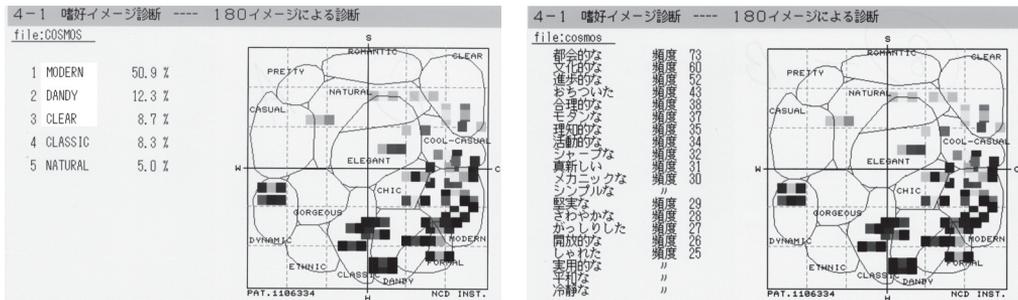
(1) 石の記憶3に対するイメージ分析

W-C/S-Hのイメージスケールのゾーニングを見ると、ナチュラル(29.9%)、ダンディ(23%)、クラシック(18.1%)に集まっていることが分かる。また、頻度の高い形容詞を見ると、どっしりした(ダンディ)[68]、おちついた(ダンディ)[58]、がっしりした(ダンディ)[48]、素朴な(ナチュラル)[45]、自然な(ナチュラル)[42]となっている。このことから、この彫刻のイメージは「クラシック・ダンディ」で、イメージされている。そのことは彫刻(石の記憶)のテーマ・イメージである「自然の偉大さのイメージ」に一致している。



## (2) 彫刻の背景の市民会館（コスモスコモン）に対するイメージ分析

W - C / S - H のイメージストルのゾーニングを見ると、モダン（50・9％）に集中して、ダンディ（12・3％）、クリア（8・7％）の順となっている。頻度の高い形容詞をみると、都会的な（モダン）[73]、文化的な（モダン）[60]、進歩的な（モダン）[52]、おちついた（ダンディ）[43]、合理的な（モダン）[38] となっている。このことにより、建物のイメージは「モダン」で、「スポティ」となる。建物の設計のコンセプトは「都市公園の中のカルチャーコアで、情報の発信基地」ということなので、イメージのズレはない。



## (3) 彫刻と背景の市民会館（コスモスコモン）イメージ関係

制作した彫刻のイメージはクラシック・ダンディである。それに対して背景の市民会館はモダンである。よって、イメージの構造は対立関係にある。その他のモニュメントと彫刻について調べた結果、下記のことをデータとして明らかになった。

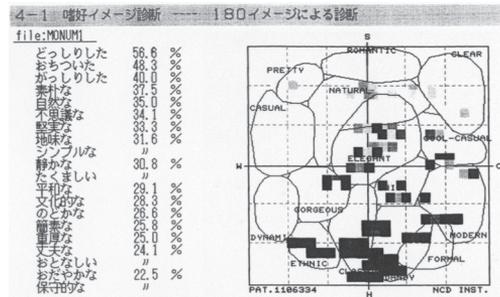
< 彫刻と背景のイメージの関係は次の3つのパターンに分けられる >

- ①イメージの関係は、対立関係にある。
- ②イメージの関係は、1部分共通ゾーンがある
- ③イメージの関係は、共通である

この3つのパターンの中で、「①の場合、景観上、よくきわだった。②の場合、景観上、きわだつ部分もあるが、同化する部分もある。③の場合、景観上、同化する。」となるが、彫刻の場合、作家のメッセージがあるから背景の建物とは同化するよりきわだつ方が好ましい。よって石の記憶3と背景との関係は「①のイメージの関係は、対立関係にある。」ということによって景観上、よくきわだつことになっている。

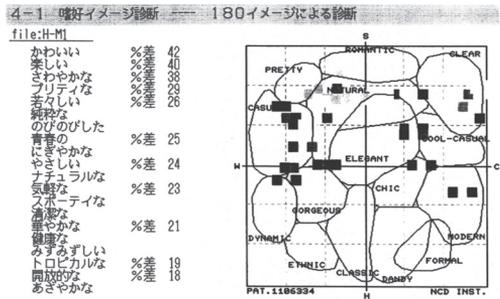
## 5. 環境彫刻と市民の嗜好イメージとの関係

### 彫刻（記憶3）のイメージ



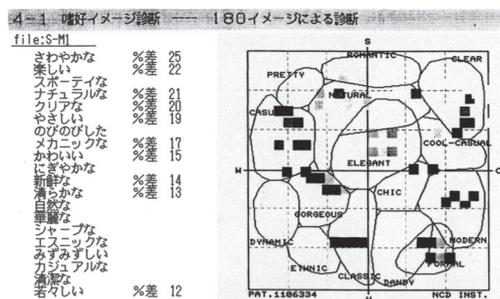
### ① 高校生の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C/S-Hのイメージスケールのゾーニングを見ると、かわいい（差42%）、楽しい（差40%）、さわやかな（差38%）、プリティなもの（差29%）、若々しい（差26%）、純粋なもの（差26%）の順になっている。



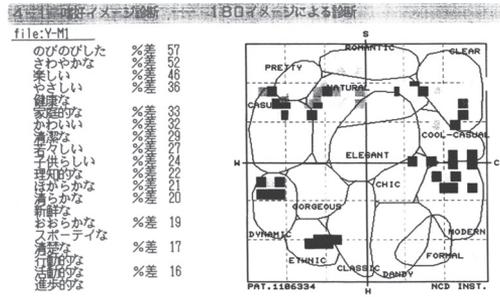
### ② 大学生の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C/S-Hのイメージスケールのゾーニングを見ると、さわやかな（差25%）、楽しい（差22%）、スポーティな（差22%）、ナチュラルな（差21%）、クリアな（差20%）、やさしい（差19%）、のびのびした（差19%）の順になっている。



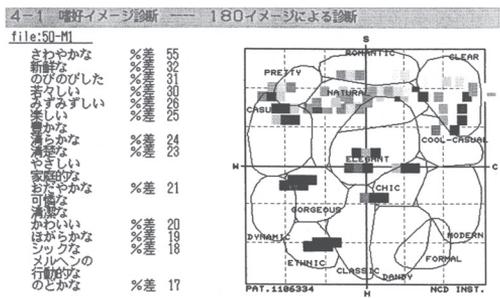
③ 30代～40代の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C / S-H のイメージスケールのゾーニングを見ると、のびのびした (差 57%)、さわやかな (差 52%)、楽しい (差 46%)、やさしい (差 36%)、健康な (差 36%)、家庭的な (差 33%)、かわいい (差 32%)、清潔な (差 29%) の順になっている。



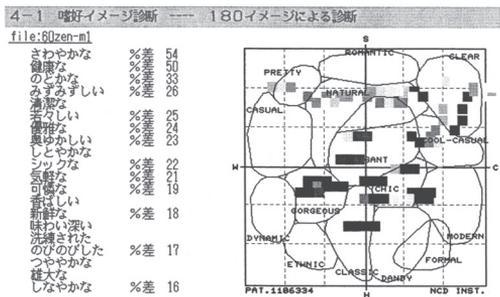
④ 50代の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C / S-H のイメージスケールのゾーニングを見ると、さわやかな (差 55%)、新鮮な (差 32%)、のびのびした (差 31%)、若々しい (差 30%)、みずみずしい (差 26%)、楽しい (差 25%)、やさしい (差 25%)、家庭的な (差 23%)、おどやかな (差 21%)、可憐な (差 21%)、かわいい (差 21%)、清潔な (差 21%) の順になっている。



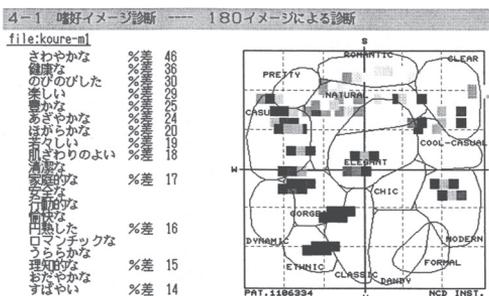
⑤ 60代前半の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C / S-H のイメージスケールのゾーニングを見ると、さわやかな (差 54%)、健康な (差 50%)、のどかな (差 33%)、みずみずしい (差 26%)、清潔な (差 26%)、若々しい (差 25%)、優雅な (差 24%)、奥ゆかしい (差 23%)、しとやかな (差 23%)、シックな (差 22%)、気軽な (差 21%)、可憐な (差 19%)、香ばしい (差 19%) の順になっている。



## ⑥高齢者の嗜好イメージと彫刻のイメージの差

W-C/S-Hのイメージスケールのゾーニングを見ると、さわやかな(差46%)、健康な(差36%)、のびのびした(差30%)、楽しい(差29%)、豊かな(差25%)、あざやかな(差24%)、ほがらかな(差20%)若々しい(差19%)、肌ざわりのよい(差18%)、清潔な(差18%)、家庭的な(差17%)の順になっている。



## 環境彫刻と市民の嗜好イメージデータの分析

世代別嗜好イメージと環境彫刻のイメージの差を見たが、彫刻(記憶3)を好む世代が大学生であると判明した。記憶3との最大差は(差25%)である。また、大学生が好む彫刻イメージは自然な、さわやかな、優しい、シンプルなイメージである。好みの彫刻に使われている素材は自然石である。共通の形の特徴は丸みがある。制作コンセプトの⑤で、又あるあらゆる年代に好まれ、親しまれる彫刻ではないが、ナチュラルな(差21%)、クリアな(差20%)、やさしい(差19%)、のびのびした形容詞が、差が小さいことから彫刻のイメージであるのびのびした、やさしい、クリアな、ナチュラルなイメージを大学生は好んでいると理解できる。

## II. 研究のまとめ

公共空間の彫刻を依頼され、制作したが、制作の前にこのような調査データが存在すると、アート計画に参考になるし、景観上きわめて適切なる対応ができる。飯塚市のモニュメントおよび彫刻は、景観のイメージ上大きな問題はなかった。ここではとりあげなかったが、市民に親しまれる彫刻はどのような彫刻であるかという問題も調査する必要がある。今後、時間が経過することによってもイメージの変化がないか。調査することも大切である。公共空間における彫刻作品のあり方は、今後も、問われ続けられる。また、同時に調査方法の問題も問われている。感性の世界が科学的データに基づいて客観的になることが公共空間の質につながると考えられる。

## 引用・参考文献

- 1) M. A ロビネット著、千葉成夫訳「野外彫刻」(SD、鹿島出版会)
- 2) 竹田直樹著「公的空間の彫刻作品に対する規制と撤去・破壊の史的変遷」(デザイン学研究 88号、1992)
- 3) 竹田直樹著「公的空間の彫刻作品の作品内容の在り方」(デザイン学研究 97号、1993)

- 4) 小林垂順著「カラー・イメージ辞典」(日本カラーデザイン研究所)
- 5) 小林垂順著「カラーマーケティング戦略」(日本カラーデザイン研究所)
- 6) 小林重順著「造形構成の心理」(ダヴィッド社)
- 7) 公共空間における彫刻作品に対するイメージ調査 有 田 信 夫  
ON THE INVESTIGATION OF IMAGES TO WARDS  
SCULPTURES IN PUBLIC SPACE  
近畿大学九州短期大学研究紀要 第 23 号 平成 5 年 12 月
- 8) 公共空間における環境彫刻に対するイメージ調査  
—環境彫刻のイメージと世代別嗜好イメージとの差—  
有田信夫 (日本基礎造形学会論文集・011 号 .2002)
- 9) 公共空間の環境彫刻に対するイメージ調査  
環境彫刻のイメージと風土イメージの差  
A COMPARISON STUDY ON DIFFERENCES OF IMAGES TO WARDS  
ENVIRONMENTAL SCULPTURES IN PUBLIC SPACES  
A Comparison of the Differences between Images to wards Environmental Sculpturesand  
Images of Regional Climate 有田信夫 (日本基礎造形学会論文集・012 号 .2003)